

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

連合富山 推薦

命と暮らしを守る県政

全世代の願いを大切に

さわむら

沢村おさむ

沢村おさむ プロフィール

- 生年月日** 1963年(昭和38)11月27日 射水市八幡町三丁目生まれ
- 現住所** 射水市神楽町55 母・妻・子2人と5人暮らし
- 経歴** 1976年 放生津小学校卒 1979年 奈古中学校卒 1982年 高岡高校普通科卒
1987年 青山学院大学経営学部卒 射水市役所に入職 港湾商工課などに勤務
2009年 射水市役所を退職し、射水市議選に出馬、初当選。以降、3期にわたり市民生活の向上に尽力
産業建設常任委員会委員長、議会基本条例特別委員会副委員長などを歴任
2019年 県議会議員選挙に挑戦するも惜敗(次点)
- 現在** 立憲民主党富山県連副幹事長、富山県地方自治研究センター副理事長、自治労富山県本部特別執行委員、射水市職員労働組合特別執行委員、など



沢村おさむ ホームページ

<https://o-sawamura.com/>



証紙

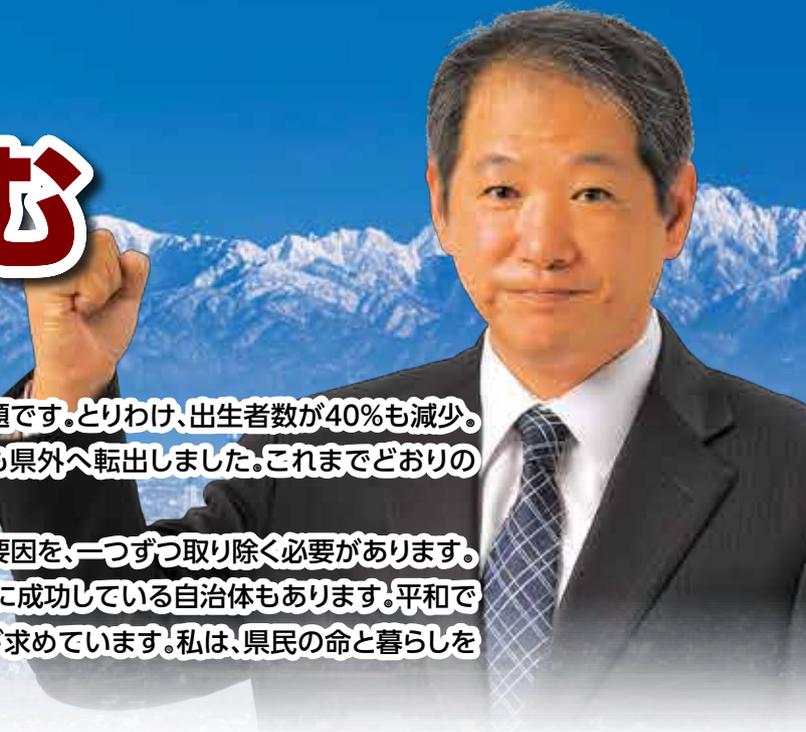
さわむら

沢村おさむ

子ども・子育てを本気で応援

富山県の人口が100万人の大台を割り込むのは時間の問題です。とりわけ、出生者数が40%も減少。また、わずか5年間で、20歳～24歳の若い女性が2,864人も県外へ転出しました。これまでどおりの政治では、この流れを決して食い止めることはできません。

今こそ、政治を転換して、子どもを持つことに不安を感じる要因を、一つずつ取り除く必要があります。全国的には、独自の施策によって人口増や平均寿命の延伸に成功している自治体もあります。平和で安心して、産み、育て、働き、老後をすごせる地域社会を誰もが求めています。私は、県民の命と暮らしを守る県政の実現をめざし、全力を尽くします。



幼稚園から高校までずっと公立に通っても、学習費の総額は**574万円**

新型コロナの影響で、塾や通信教育にかかる費用が増加

3年前よりも**33万円も増加**

内訳

幼稚園	小学校	中学校	高校
47万円	211万円	162万円	154万円

出典：文部科学省、日本学生支援機構、中央労協調査

教育・子育て環境の向上

- 給食費や高校授業料の無償化、給付型奨学金制度の整備など、経済的負担の軽減
- 保育園や学校の人的配置の充実や働き方改革を推進し、子どもたちの健やかな成長を応援

「安心・安全・協働」の地域づくり

- 生命と財産を守る防災・防犯対策の充実で、安心して暮らせる地域づくり
- 地域住民と行政が共に手を携える市民協働事業の充実
- 人口流出に歯止めをかけるため、空き家、空き地対策をさらに充実させるなど、住環境を整備

地域医療体制の強化と健康づくり事業の充実

- 感染症の拡大等に対応できる、市民病院を核とした地域医療体制の強化
- 人生100年時代を見据えた健康づくりや介護予防事業の充実

雇用・労働環境の改善、地域経済の活性化

- 長時間労働の是正など、働く人のための真の「働き方改革」の推進
- 「パートタイム・有期雇用労働法」など労働法遵守の徹底
- 地場産業・中小商工業の活性化支援のさらなる強化

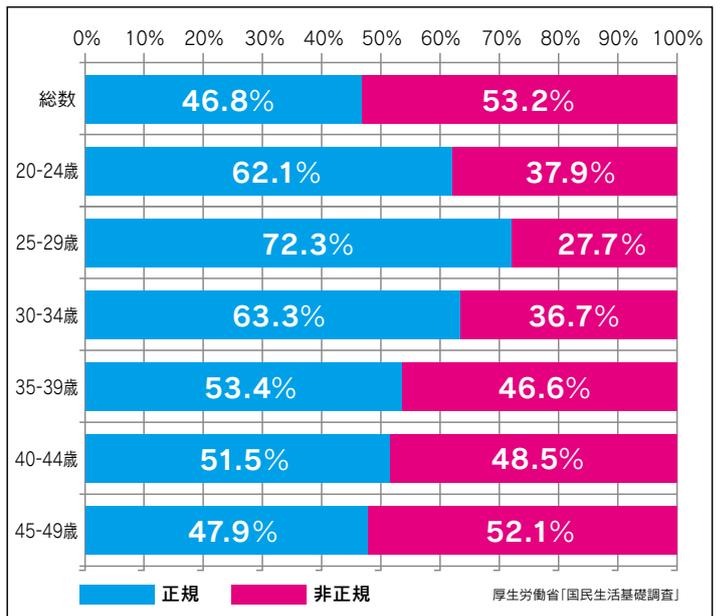
高齢者・障がい者・女性への支援の充実

- 高齢者施設を充実し、お年寄りが安心して暮らせるまちづくり
- 障がいをお持ちの皆さんに合理的配慮を提供する体制づくり
- 交通弱者に移動の自由を保障するため、地域公共交通を充実
- 性別に関わらず能力を発揮できる地域づくり

エネルギーの地産地消と気候危機対策

- 持続可能な地球環境をめざし、農業と協業の太陽光発電など、再生可能エネルギーの地産地消を促進

●女性の正規・非正規構成比率(2021年)



対話
行動
信頼

ともにつなぐ 地域と県政の架け橋